

都市再生整備計画 フォローアップ報告書

越後山地区

平成24年8月

埼玉県和光市

1. 数値目標の達成状況の確認(確定値)

様式4 - 都市再生整備計画に記載した目標を定量化する指標の確定

指標	単位	従前値	目標値	事後評価				フォローアップによる確定値	計測時期	フォローアップ時点での達成度	確定値が評価値と比較して大きな差異がある場合や改善が見られない場合等	総合所見	
				評価値	見込み・確定の別	目標達成度	1年内の達成見込み						
指標1	定住人口	人	400	600	552	確定 見込み	あり なし	602	H24年4月			改善策はそのまま改善策に補強が必要新たに改善策をたてる	土地区画整理事業により良好な住宅地の形成が進むとともに、人口が定着しつつある。
指標2	イベント参加者数	人	0	180	1,348	確定 見込み	あり なし					改善策はそのまま改善策に補強が必要新たに改善策をたてる	イベントへの参加者は年々増加しており、着実に地域に定着している。
指標3	定住者による満足度調査	%	20	60	-	確定 見込み	- あり なし					改善策はそのまま改善策に補強が必要新たに改善策をたてる	従前値と目標値の計測手法が異なり、事業前後の比較検証ができない指標となっているため、本指標は無効とした。
指標4						確定 見込み	あり なし						
指標5						確定 見込み	あり なし						

事後評価シート 様式2-1及び添付様式2-から転記 全ての指標について記入

フォローアップの必要のある指標について記入

全ての指標について記入

様式4 - その他の数値指標の確定

指標	単位	従前値	目標値	事後評価				フォローアップによる確定値	計測時期	フォローアップ時点での達成度	確定値が評価値と比較して大きな差異がある場合や改善が見られない場合等	総合所見	
				評価値	見込み・確定の別	達成度	1年内の達成見込み						
その他の数値指標1	地区内清掃・防犯パトロールの実施回数	回	0	37	確定 見込み			42	H24年4月			改善策はそのまま改善策に補強が必要新たに改善策をたてる	定期的にクリーンパトロールを実施することで、地区的景観が保たれ、地域の防犯性が高まっている。
その他の数値指標2	地区に対する満足度	%	25.1	42.5	確定 見込み							改善策はそのまま改善策に補強が必要新たに改善策をたてる	土地区画整理事業やイベント等の実施により、まちづくりに対する住民の理解が進んでいる。
その他の数値指標3					確定 見込み								

事後評価シート 様式2-1及び添付様式2-から転記 全ての指標について記入

フォローアップの必要のある指標について記入

全ての指標について記入

2. 今後のまちづくり方策の検証

様式4 - 「今後のまちづくり方策」の進捗状況

事後評価シート 添付様式5 - に記載した 今後のまちづくり方策(事項)		実施した具体的な内容	実施した結果	今後の課題 その他特記事項
・成果を継続させるために 行う方策	快適な居住環境の維持・保全	・土地区画整理事業の推進 ・防犯、防災活動の継続支援	・良好な住宅地形成が促進されるとともに、生活環境の質が向上しつつある。 ・定期的な防災訓練や防犯活動の継続により、住民の防災・防犯意識の向上が図られている。	・土地区画整理事業を継続して進める。 ・今後も防災・防犯活動を継続していく。
	歩行空間の安全性・快適性の向上	・清掃活動の実施支援	・歩行者が安全に通行できるだけでなく、快適に通行できるようになった。	・今後も清掃活動の実施支援を継続していく。
	地域住民の交流促進や新旧住民のコミュニティの形成	・夏祭り、秋の収穫祭等の既存イベントの発展	・地域のイベントを発展させることにより、コミュニティの醸成が図れた。 ・住民がまちづくりに参加しやすい環境づくりが進んでいる。	・既存イベントを継続して行えるように支援していく。
改善策 ・まちづくりの目標を達成するための改善策 ・残された課題・新たな課題への対応策 ・その他 必要な改善策	快適で当該地区らしい居住環境の形成	・土地区画整理事業の推進	・地区の特徴である農地等を活かした魅力的な市街地形成が少しずつ進んでいる。	・土地区画整理事業を継続して進める。
	道路のアクセス性の向上	・土地区画整理事業による道路整備、道路環境の改善	・車両のスムーズな通行やすれ違いが可能となるよう狭隘道路の解消を図る。 ・住宅地の生活道路に通過交通が入り込まない道路ネットワークの形成を図る。	・土地区画整理事業を継続して進める。
	安心して通行できる道路環境の形成	・土地区画整理事業による道路整備、道路環境の改善	・交通量の多い道路や、今後車両交通の増加が懸念される道路については、歩道整備等により歩行者の安全を確保する。	・土地区画整理事業を継続して進める。
	地域住民の交流促進やコミュニティ形成の場づくり	・集会所整備の検討 ・第一公園の整備 ・住民による公園等の管理や利活用方策の検討	・検討会議等を重ねることにより、住民同士の交流が徐々に促進されつつある。	・地域住民で管理できる集会所の整備の検討を行う。

事後評価シート 添付様式5 - から転記

様式4 - フォローアップにより新たに追加が考えられる今後のまちづくり方策

追加が考えられる今後のまちづくり方策	具体的な内容	実施時期	実施にあたっての課題 その他特記事項